

公共施設等の適正配置に向けた 小地域（字）単位の人口分析の検討

平成28年5月23日

総務部 ファシリティマネジメント室

1. 小地域(字)単位の人口分析の目的

【今年度の取組】

平成28年度に、小地域(字)単位で人口動態を分析できるシステムを県で開発



国勢調査の数値をもとに、小地域単位の将来人口の推計が可能

(例) 就学前、15歳未満、65歳以上人口割合のマップ化
既存公共施設等の分布状況と重ねたマップ等を作成

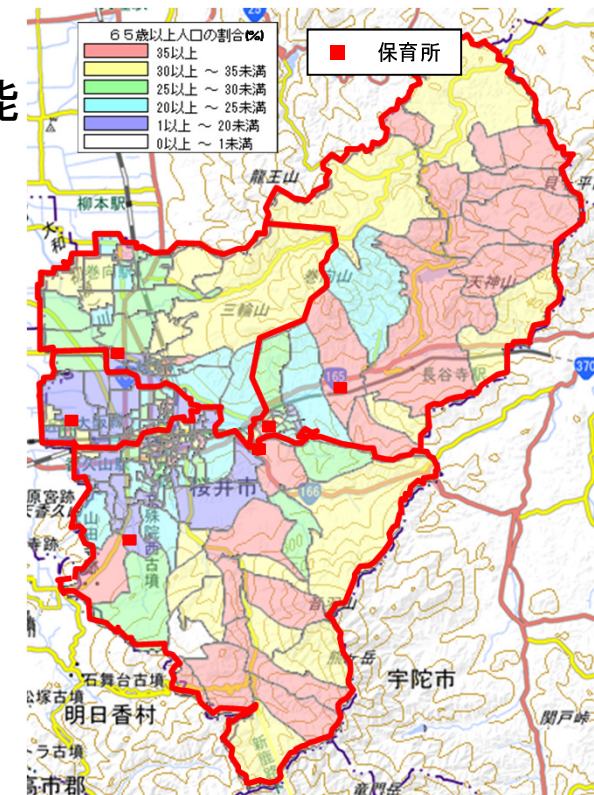
市町村が、まちづくりや施設配置を
検討するための資料として提供

【目的】

地域に必要な機能を有した施設を適切に配置する

- 今後の人口推移によっては、低未利用となる施設が増加するおそれ
- 公共施設等の利用者ニーズと設置状況が乖離する可能性を予見
(例) 既存保育所のある地域で、高齢者人口の割合が高くなるなど

(小地域別の人口分析の事例)



2. 人口分析の手法事例(桜井市)

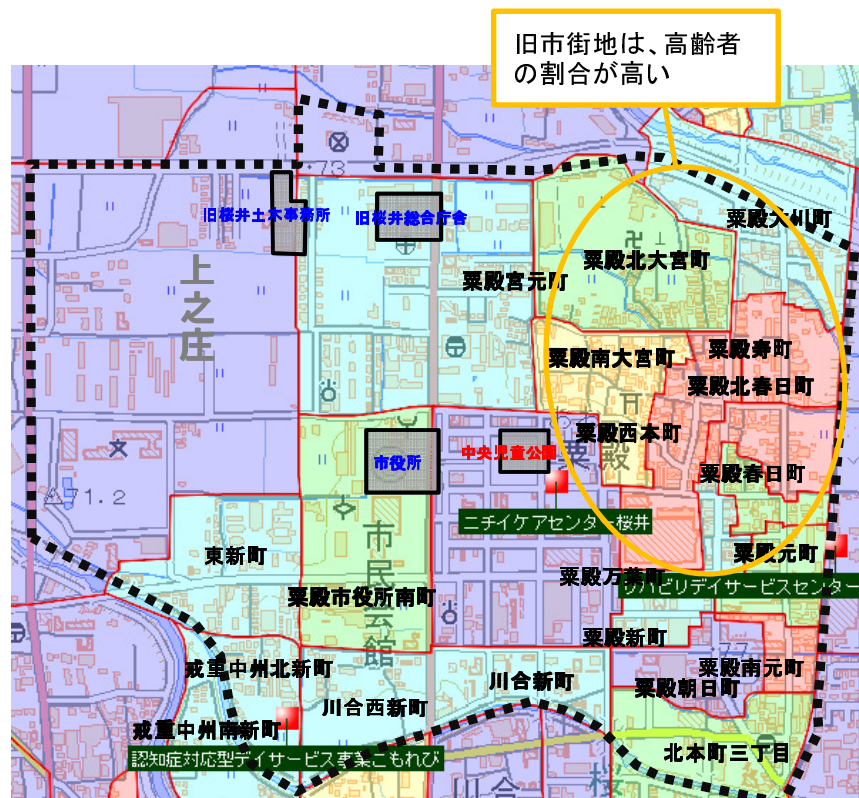
(1) 小地域別地図による面的な分析例(その1)

○桜井市役所周辺地区の65歳以上人口の割合

〔平成22年国勢調査時点〕

(地域の特徴)

- ・現状は、全体的に高齢人口割合の低い地域
- ・高齢者の割合が高い地域は、旧市街地に集中



〔平成42年(20年後)〕

(将来人口の特徴)

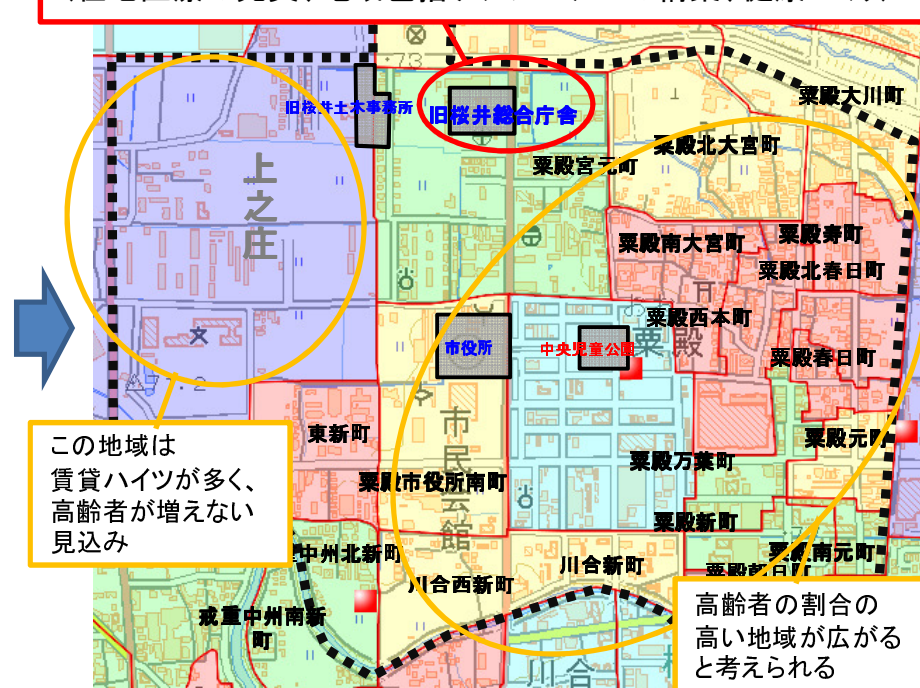
- ・全域で高齢者の割合が高くなると考えられる。

(充実が必要な機能)

- ・高齢者支援環境の充実を図る必要がある。

医療・福祉の新拠点

(在宅医療の充実、地域包括ケアシステムの構築、健康づくり)



2. 人口分析の手法事例(桜井市)

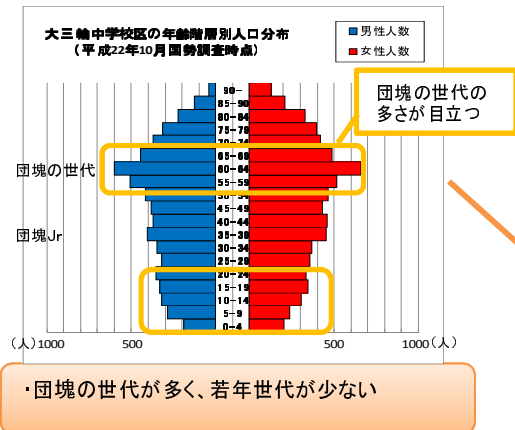
(2) 人口ピラミッドによる量的な分析〔平成22年国勢調査時点〕

桜井市の
各中学校区に
おける現状と課題

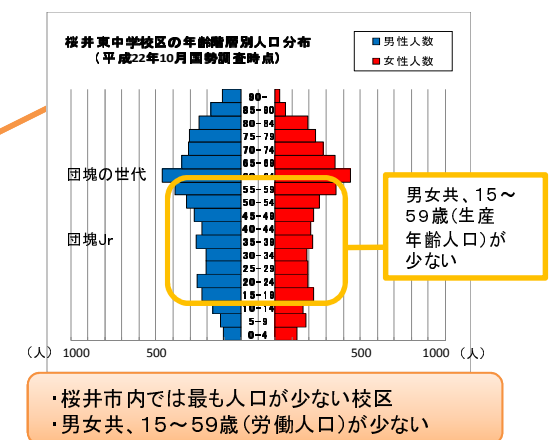
(中学校区別の年齢階層別人口分布)

- ・大三輪中学校区は、団塊の世代の多さが目立つ。
- ・桜井西中学校区は、25～49歳(子育て世代)が多く、比例して子供も多い。
- ・桜井東中学校区は、桜井市内では最も人口が少ない。特に15～59歳(生産年齢人口)が少ない。
- ・桜井中学校区は、桜井市内では最も人口が多い。特に25～49歳(子育て世代)が多く、比例して子供も多い。

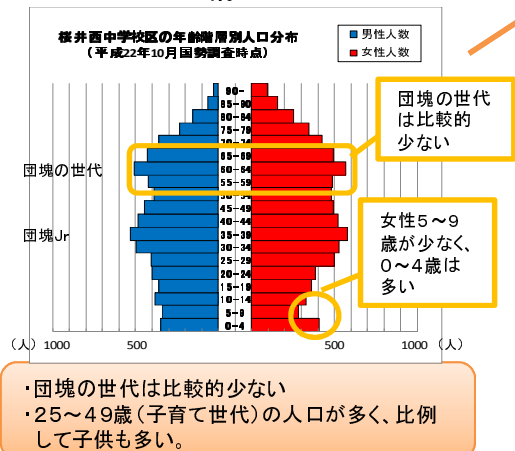
(大三輪中学校区) 三輪以北地域



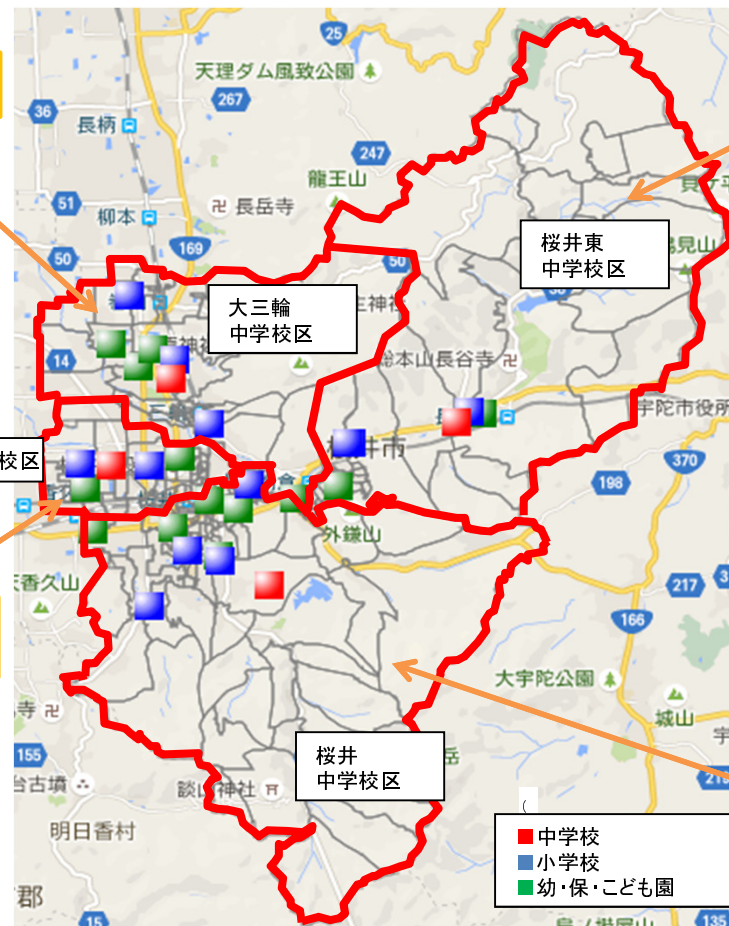
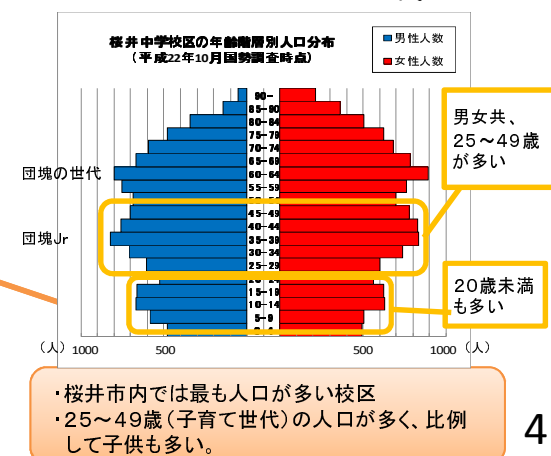
(桜井東中学校区) 朝倉以東地域



(桜井西中学校区) 桜井駅北・市役所周辺～大福地域



(桜井中学校区) 桜井駅南～多武峰地域



3. 今後の取組 ～県域ファシリティマネジメントへの展開(市町村支援、国・民間連携)～

県が各資産データ収集や将来人口推計に主体的に取り組み、市町村、国、民間との連携を推進

